

2024年6月4日

水素発生装置を電子部品メーカー工場内の設備へ納入 ～ 福井県小浜市 生産プラント向けの導入は初 ～

日立造船株式会社は、進工業株式会社（京都市下京区、岡本 直用 代表取締役社長、以下、進工業）の小浜工場（福井県小浜市）内の設備向けとして清水建設株式会社（東京都中央区、井上和幸 代表取締役社長、以下、清水建設）から受注していた水素発生装置 1 基（水素発生量：5N m³/h）の試運転が完了し、このほど納入を行いました。



【水素発生装置が組み込まれた設備】

進工業は、薄膜抵抗器メーカーで、主力の小浜工場は築 45 年が経過したため、今年、規模を拡大した上で新工場として再整備されました。

この新工場に設置された水素エネルギーシステムの中に、今回当社が納入した水素発生装置が組み込まれています。

このシステムは、清水建設が国立研究開発法人産業技術総合研究所（産総研）と共同開発した「Hydro Q-BiC」^{ハイドロ キュービック}で、再生可能エネルギーの余剰電力を使って水素発生装置を運転し、発生させた水素を水素吸蔵合金に蓄えたのち、必要に応じて水素を取り出して発電することができます。当社は以前からこのシステム向けに水素発生装置を納めており、今回初めて、生産プラント向けに導入され、工場電力のピークカット制御のほか、BCP（事業継続計画）の観点から非常時の電源としても活用される予定です。

水電解による水素発生装置は、再生可能エネルギーの余剰電力や出力変動を吸収し、再生可能エネルギーの更なる導入拡大を図ることができる設備です。当社は、2000年に水素発生装置の販売を開始して以来、これまでに40基以上、国内外の企業や研究機関に納めており、多種多様な要望に応えてきました。

当社は、これまでの実績の中で培った技術を生かし、今後も水素社会の実現に向けて貢献してまいります。

なお、本件の概要は以下のとおりです。

1. 発注者：清水建設株式会社（東京都中央区、井上 和幸 代表取締役社長）
2. 納入場所：進工業株式会社（京都市下京区、岡本 直用 代表取締役社長）
小浜工場（福井県小浜市）
3. 水素発生量：5N m³/h

(終)